

News Release

2020年12月15日

関係各位

福井工業大学

高性能パラボラアンテナを用いた月探査用衛星地上局の開発と性能実証の共同研究



福井工業大学「ふくいPHOENIXハイパープロジェクト」イメージ

福井工業大学(所在地:福井県福井市、以下「本学」)は、人類の宇宙活動の発展に貢献する人材育成を目的に「宇宙研究推進本部」を設置し、「ふくいPHOENIXハイパープロジェクト」を大きく展開するにあたり、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(以下「JAXA」と、「高性能パラボラアンテナを用いた月探査用衛星地上局の開発と性能実証の研究」に関し、共同研究契約をこのほど締結しました。

これにより、月周回軌道衛星との通信を可能とする高性能な口径16.5mパラボラアンテナシステムを新規整備して、大学・民間では国内唯一の衛星地上局を設置します。また、Society5.0の基盤となるデータ駆動型社会の到来を見据え、2019年に福井県内では唯一の「AI&IoTセンター」を設立しました。これにより宇宙由来のデータを活用する基盤を整備し、「宇宙×ICT」による新しい価値の創造を推進していきます。

JAXAとの共同研究内容に関しましては、下記の通りです

つきましては、この「ふくいPHOENIXハイパープロジェクト」について、ご取材いただけますようここにご案内いたします。

記

「高性能パラボラアンテナを用いた月探査用衛星地上局の開発と性能実証」の共同研究

- ◆ 契約締結日 : 2020年11月26日(木)
- ◆ 研究期間 : 2020年11月26日～2023年3月31日
- ◆ 研究テーマ : 口径16.5m高性能パラボラアンテナを用いた、月探査用衛星地上局の開発と性能実証
- ◆ 研究目的 : 口径16.5m高性能パラボラアンテナを用いた、月軌道までの超小型衛星の運用が可能な地上局の開発を、エクレウス衛星の仕様をふまえて検討することによって行う。地上局の機能として、1)X帯における受信機能、2)X帯における送信機能、3)軌道決定支援機能の3機能を持たせる。これらの機能実証を、エクレウス衛星の運用に参画して行う。
本研究においてコンパクトな月探査用地上局システムを確立することにより、今後の月探査の発展に貢献する。
さらに将来的には、我が国の宇宙開発および宇宙産業に貢献する人材育成の拠点となることを目的とする。
- ◆ 公式ホームページ : <ふくいPHOENIXハイパープロジェクト>
<http://www.fukui-ut.ac.jp/phoenixhyper/>



以上

【添付資料】

1. 【福井工業大学】「ふくいPHOENIXハイパープロジェクト」パンフレット
2. 福井工業大学_12月15日記者会見_ご挨拶(抜粋)

この件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

- ◆「知」をつなぐ。「未来」を創る。福井工業大学
福井工業大学 地域連携研究推進センター 社会連携推進課
〒910-8505 福井県福井市学園3丁目6番1号
TEL: 0776-29-2661(直通)、FAX: 0776-29-7843
e-mail: shakai-u@fukui-ut.ac.jp